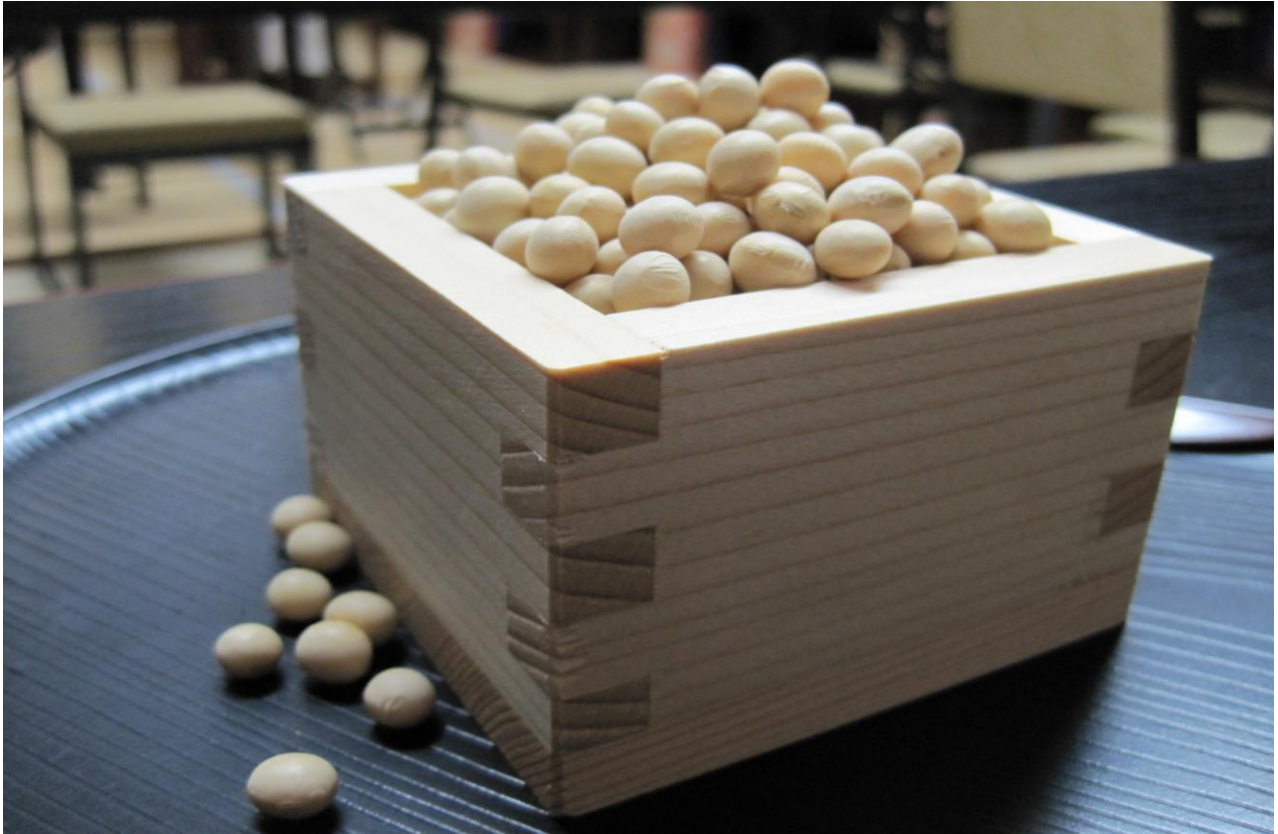


ともしび



二月三日は節分の日です。節分とは一年にいくつかある季節の変わり目で立春の前日にあたります。この日に多くのお寺や神社では有名人を招き、豆まきなどを行うのが例年の行事です。また、地域によってはアザミの先にイワシの頭を刺したものを玄関にかかけたり、その年に縁起の良いとされる方角を向きのり巻きを食へる習慣もあります。

私の家では祖父が豆まきをするのが慣例です。その日の朝は、家族や檀信徒の健康を願ってご祈祷を行ってから各部屋を回り、大きな掛け声を出して豆をまくのです。祖父は豆まきが終わると自慢げに「今年も大丈夫だ」と話します。節分は一年の無病息災を願う日でもあるので私も、祖父が今年一年を元気に過ごしてもらえるように願い、豆をまきました。

〈松葉 裕全〉
まつば ゆうぜん

ともしび法話会の思い出



さわきほうしょう
澤城 邦生

みやけだいてつ
三宅大哲

月日が経つのは早いもので、私たち二人は今月をもちまして「ともしび法話会」を卒業する事になりました。初めて参加した日が昨日の事のように思い起こされます。今月はそれぞれの思い出を語り合いました。

Q、最初に法話会に参加した感想は？

〈三宅〉頭が真っ白になりましたね。自己紹介で自分が何を話しているかわからなくなって（笑）

〈澤城〉緊張したよね。こんなに大勢の人の前で話すのが初めてだったし。歌も歌ったね。

〈三宅〉そうそう。僕は地元宮城の民謡『大漁唄い込み』を歌ったなあ。知っている人いないと思っただけど、一緒に歌ってくれる人がいて、とっても嬉しかったな。

〈澤城〉そうだね。私は『天城越え』を歌ったけど、喜んでくれた方がいて、こっちが嬉しくなっちゃった。みなさんと握手した時の手の温もりも忘れられないなあ。

Q、特に思い出に残った事は？

〈三宅〉皆さんの中に私の故郷の隣町である鮎川出身の方がいらっしやった事です。ビックリしました！ ご縁を感じましたね。

〈澤城〉それは凄いな。私も地元下田の話は何回かさせていたいただきましたが、皆さんが興味を持って聴いて下さったのが、とても嬉しかったです。改めて故郷を見つめ直す機会になりましたね。

〈三宅〉後はレクリエーションですね！

〈澤城〉レク楽しかった。

〈三宅〉バルーンアートを皆さんの目の前で作った時、途中で風船が割れちゃって：いやーあの時は焦ったな（笑）

〈澤城〉あったね。私はサンタクロースに扮して『お坊サンタ』で登場した事が忘れられません。皆さんと楽しい時間を共有できて本当によかったです。

Q、三年間で学んだ事は？

〈三宅〉法話ですね。伝える事：わかりやすく人に伝える事の難しさかな。自分の中に落とし込んでいない話は、やっぱり人には伝わらないという事を勉強しました。

〈澤城〉深いね。私は人の前で話をする楽しさを学びました。いまだに緊張して、顔が真っ赤になります（笑）、人の笑顔は何ものにも代えがたいものだと感じました。

〈三宅〉あら、かつこいいこと（笑）

Q、今後の抱負。

〈三宅〉僕は宮城に帰ります。お寺を拠点に地域の方のために活動していくつもりです。

〈澤城〉私は引き続き東京で仏教の勉強をさせていただきます。更に精進してまいります。

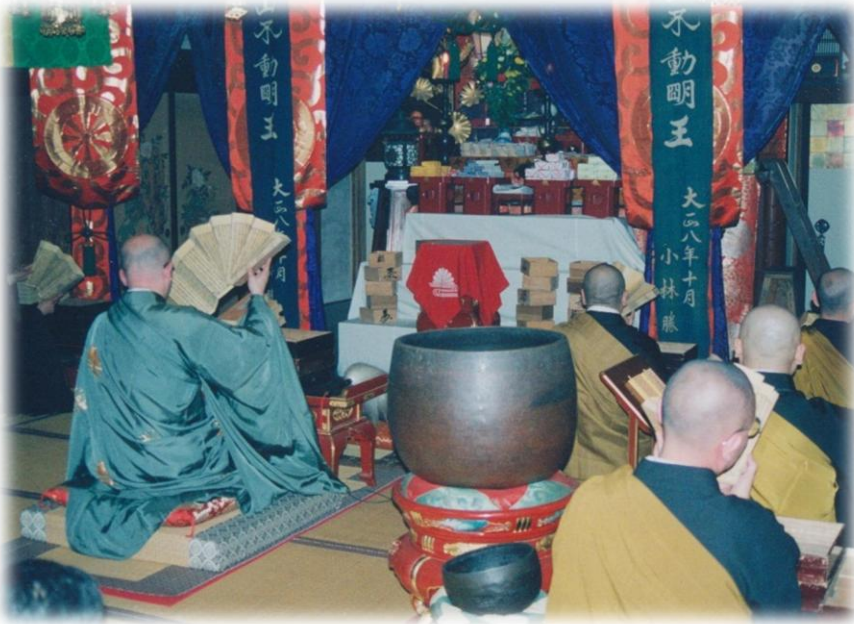
〈二人〉三年間温かく見守って下さり感謝しております。本当にありがとうございます！ では皆さん、いつかまたお会いしましょう！

私の

ふるさと



第九回

節分会せつぶんえのご祈祷

本堂で行われるご祈祷の様子

私が生まれ育った福島県飯坂町いひざかまちにある常泉寺では、毎年二月三日の午後五時、六時、七時と三回に分けて厄払いのご祈祷法要と豆まきを行います。

法要と聞くと淡々と静かに行われるイメージがあるかと思いますが、このご祈祷の間だけはそれが一変します。鳴り響く太鼓に合わせて、たくさんのお僧侶一人一人が、力強い読経とともに写真のようにパラパラとお経本をめくっていきます。いつもとは違うその圧倒的な迫力に、災いもどこかへと吹き飛ばしてしまいます。私も一緒にこの法要に参加し、冬の寒さに負けじと、大きな声をはりあげお経をお唱えしています。

「降伏一切大魔最勝成就！」
こうぶくいつさいだいまさいししょうじょうじゆ

（全ての災いを取り除き、

人々の願いを叶え、幸せへと導いて下さい。）

今年も、白い雪が降り積もった境内に、一年の幸福を願う祈りの声が響きます。
〈中野 孝海〉
なかの こうかい

〒105-8544 東京都 港区 芝 2-5-2 曹洞宗宗務庁内
曹洞宗総合研究センター 教化研修部門 一般教化課程
ともしび法話会

TEL 03-3454-6844 FAX 03-3454-7180

2013(平成 25)年 2月 1日発行 第 372 号